

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年		
410047	X-33-B-2-410047	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×		
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×		
情報処理演習P 2①／C 2 ①	中田 豊久			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×		
				【1・3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×		
				【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択必修	1年		
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×		
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

コンピュータを使用して情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術をC言語により学習する。 情報処理演習C1の続きとして、関数、ポインタ、構造体、ファイル処理を使用したプログラミングの応用方法を学習する。 これらを通して、情報社会で活躍するための知識を学びます。

各回の授業内容

第1回	第9回
【授】 全般的なC1の復習 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 構造体使用の基礎 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第2回	第10回
【授】 配列に関するC1の復習 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 構造体使用の応用 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第3回	第11回
【授】 関数使用の基礎 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 ファイル処理使用の基礎 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第4回	第12回
【授】 関数使用の応用 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 ファイル処理使用の応用 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第5回	第13回
【授】 ポインタ使用の基礎 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 応用問題1 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第6回	第14回
【授】 ポインタと配列の使用 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 応用問題2 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第7回	第15回
【授】 ポインタと文字列の使用 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 まとめ、テスト 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第8回	第16回
【授】 ポインタと関数の使用 【前・後】【予習復習に4時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	

成績評価方法

各回演習と小テストの標準解（プログラム例）を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックする。【成績評価】定期試験30%、小テスト・授業内レポート20%、宿題・授業外レポート20%、授業態度・授業への参加30%で評価する。

教科書・参考書

- 教科書「新版 明解C言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ ISBN: 978-4797327922
- 参考文献はその都度紹介する。

受講に当たっての留意事項

- 情報処理演習C1を履修し、C言語の基礎について理解しておくことが望ましい。
- 情報センター利用規則を守ること。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
○ 民間企業におけるC言語の利用経験を有する。		○

学習到達目標

C言語プログラミングに関する全般的な知識を理解し学習することにより、さまざまな問題の解析を行うことができ（演習10%・レポート10%・テスト15%）、プログラム作成やデバッグができるようになる（演習40%・レポート10%・テスト15%）。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：C

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410047	X-33-B-2-410047						
授業科目	担当教員						
情報処理演習 P 2 ②／C 2 ②	石井 忠夫	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1～3年次生】経営情報学部経営学科 【1～3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × × 専門 × ×	× × × × 選択必修 × ×	× × × × 1年 × ×

授業目的

コンピュータを使用して情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術を C 言語により学習する。 情報処理演習 C1 の続きとして、関数、ポインタ、構造体、ファイル処理を使用したプログラミングの応用方法を学習する。 これらを通して、情報社会で活躍するための知識を学びます。

各回の授業内容

第 1 回	第 9 回
【授】 全般的な C1 の復習 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 構造体使用の基礎 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第 2 回	第 10 回
【授】 配列に関する C1 の復習 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 構造体使用の応用 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第 3 回	第 11 回
【授】 関数使用の基礎 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 ファイル処理使用の基礎 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第 4 回	第 12 回
【授】 関数使用の応用 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 ファイル処理使用の応用 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第 5 回	第 13 回
【授】 ポインタ使用の基礎 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 応用問題 1 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第 6 回	第 14 回
【授】 ポインタと配列の使用 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 応用問題 2 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第 7 回	第 15 回
【授】 ポインタと文字列の使用 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	【授】 まとめ、テスト 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習
第 8 回	第 16 回
【授】 ポインタと関数の使用 【前・後】 【予習復習に 4 時間】教科書等による予習／演習課題などの復習	

成績評価方法

各回演習と課題プログラムの標準解（プログラム例）を示す。また、6回のレポート課題を出し、その解答例を説明する。【成績評価】定期試験 30%、毎回の演習態度 40%、宿題レポート 30% で評価する。

教科書・参考書

- 教科書「新版 明解 C 言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ ISBN: 978-4797327922
- 参考文献はその都度紹介する。

受講に当たっての留意事項

- 情報処理演習 C1 を履修し、C 言語の基礎について理解しておくことが望ましい。
- 情報センター利用規則を守ること。

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施
○ 民間企業で C 言語を用いたプログラム開発の経験を有する。		○

学習到達目標

C 言語プログラミングに関する全般的な知識を理解し学習することにより、さまざまな問題の解析を行うことができ（演習 10%・レポート 10%・テスト 15%）、プログラム作成やデバッグができるようになる（演習 40%・レポート 10%・テスト 15%）。

JABEE

関連する学習・教育到達目標 : C

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習